

繪本魁

福



函本武上情雅

對北高政畫狂者入正等

甲書之篇

書林

崇山高
北林空

新梓

天保七丙申年明發免

後之志を以て法す以て要と以て字一均を妙を傳的も目も亦も其制
一之然成わすれ替を厭及志ま古若よる画畫は世れも之
厚清く取以たあ志まこと画若其意寫志にれんあれはまも也
かたらはしそ目も亦も一す中こ華樂をのこまもすれ
神を傳す志も成志まこと目もれ傳し以て志を以て形はすしそ志
も風雅愛敬するきその世れも一きをめ何まへのむ世れ
あふも題す画帖刻成る寫す後小志成志へのむも
神魂を以て一出一はたあ何れ目も亦も一實はあ
るも亦も人は人との規規もあいつるも一人物の強弱も
を思もそれもけす形を以て齒を以て志を以て傳し精

やまとたけ ひと
日本武の尊
婦人に奪て
賊首哮を討給

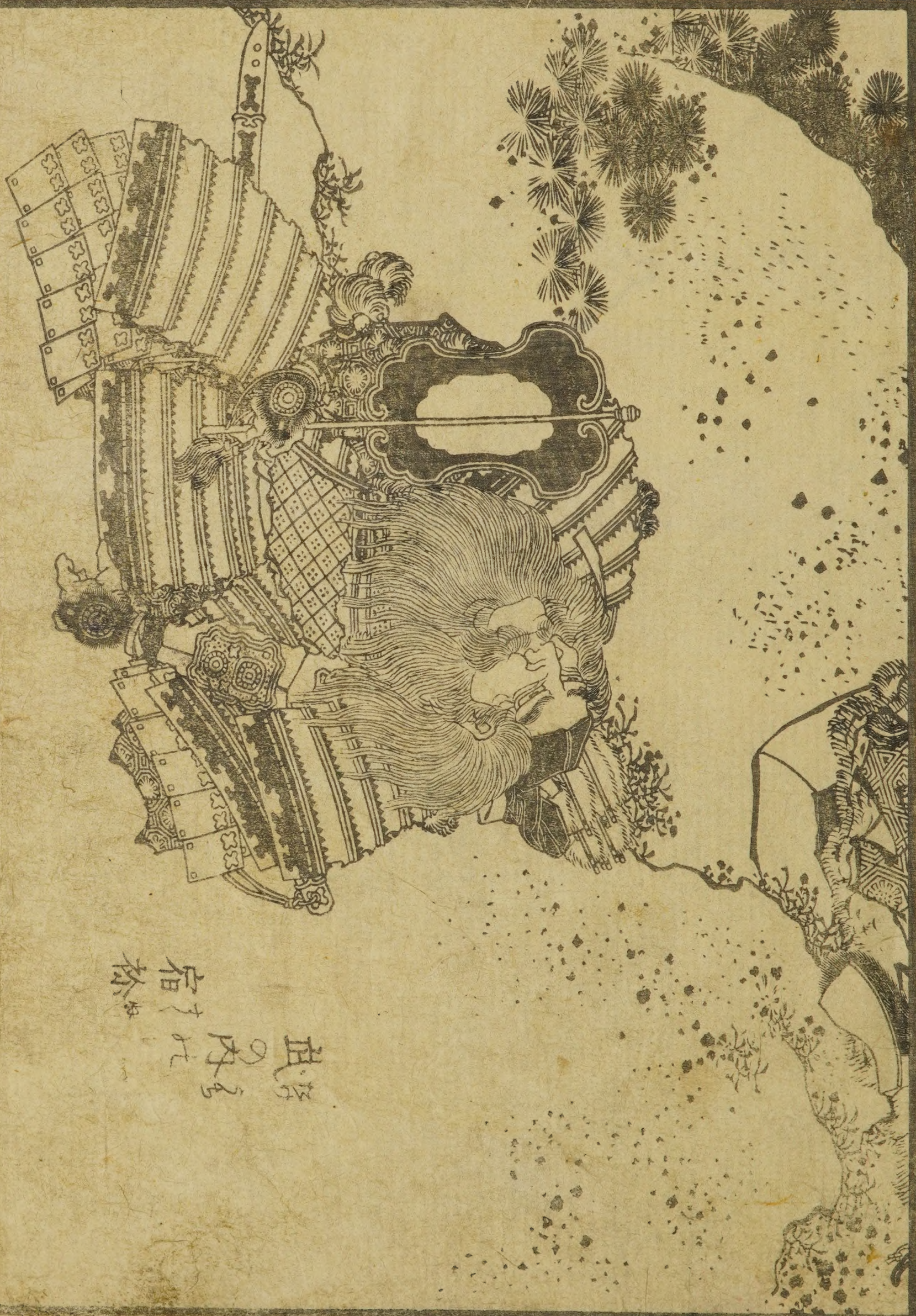


日本武の尊



金甲二具在帶
其動自在亦屈伸皆格无不失

神后
功皇后

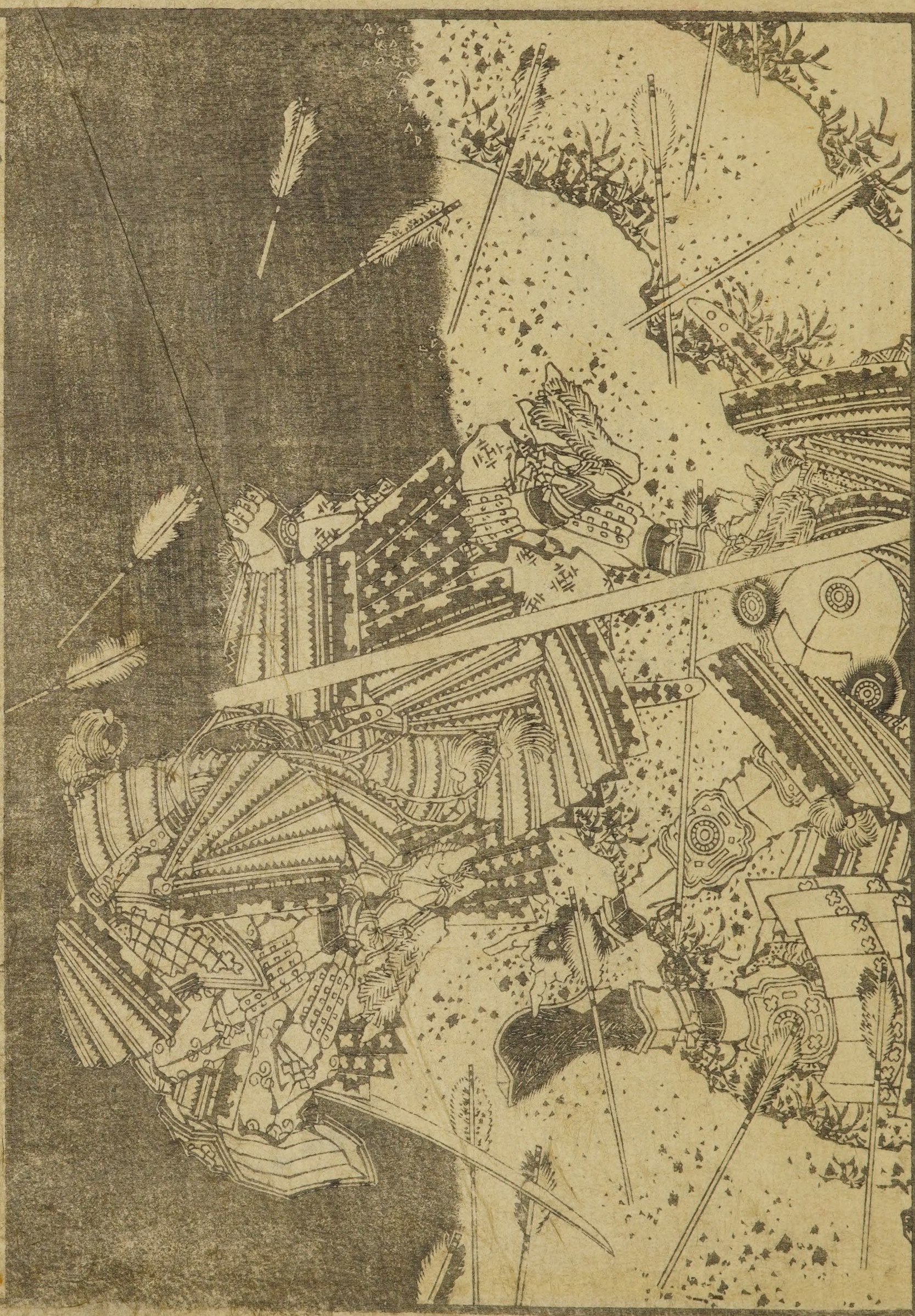


宿村
茶

武
丙
五

怪力 逆賊 憤戦
逆賊 眉掃王
怪力 逆賊 憤戦





の 4
野見の宿 赫比後胤

同苗 八綱太有熊



た^へま け^ちや こ^うん
當麻の遣速比後胤

と^うま^りや^うこ^うん
同苗次郎悔速



東辰の猛將たる
 金窪兵太筋底を
 手取り其弓勢を杵歎く
 歌陳美酒佳肴を贈る

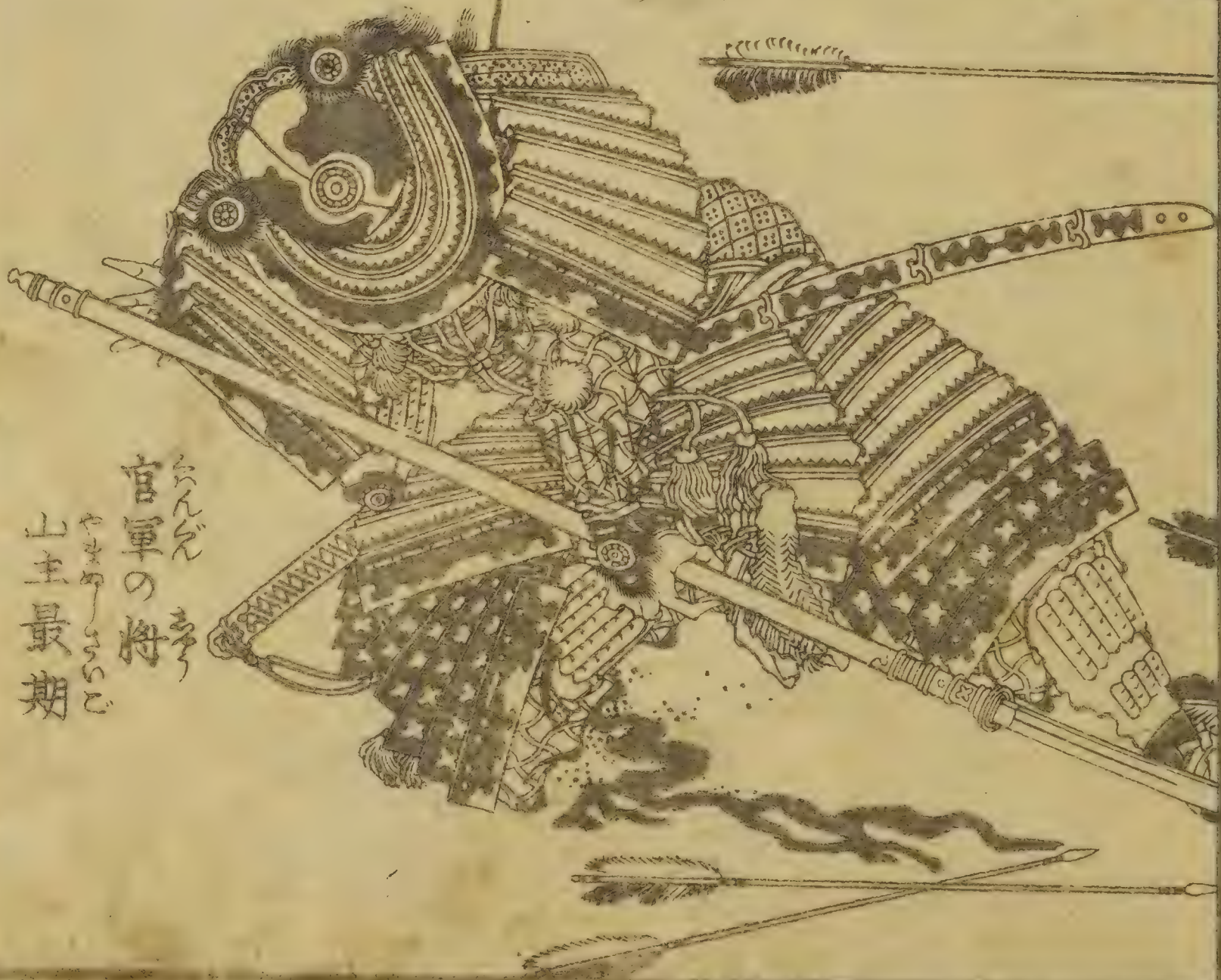




てうてきせが
朝敵曾我の
いぢりだのどん
入鹿は大臣



山王最期



官軍の將
 山王最期
やまのうしん



恵美の
押勝
討死



坂の上は廣野磨

早良親王を捕ら

早良
皇子



傷山ありて曰く軍事に甘んず
 故実多しと云ふ下も能く承て志をん
 暮て御陣の順逆進退は速速式ハ
 和陸にさすべしなり生を怪人儀を
 重ん 白刃を交へて存亡一呼吸を
 估る時我山に在りて故実用する事

左ノ一



南村
 將軍



羅生門
らせいもん

淡木
あぢき
童子
こども

...

禁札

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、

寛文九年



渡辺の綱



擇
 復
 大
 節
 最
 期
 也

古古留の関比
古哥香畧之也

源の義家
みよしのり

八幡太郎
はちまんたろ





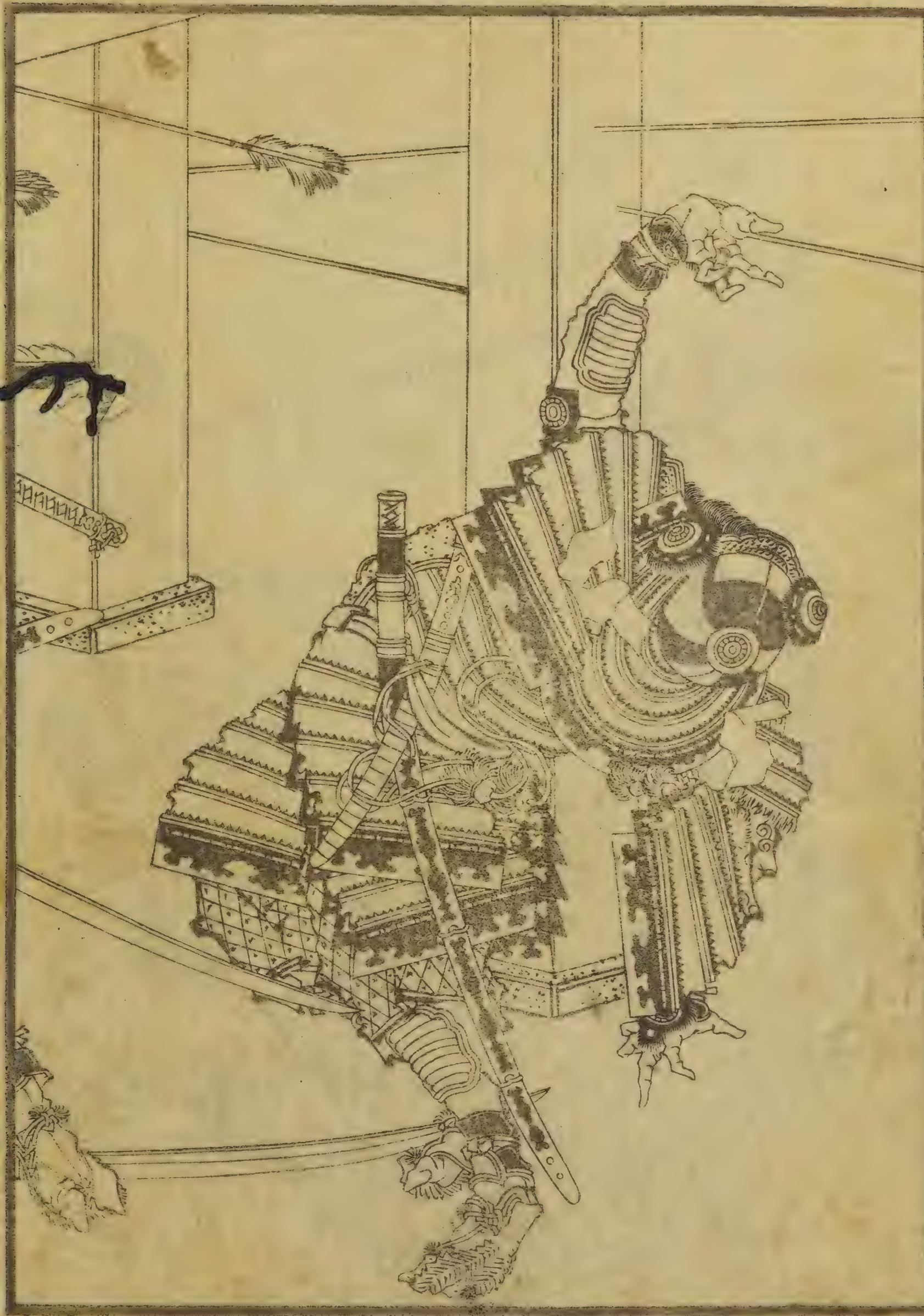
安部此
貞任が



一子
ちよ
千代童子
笹の柵
けつせん
血戦す



千代童子



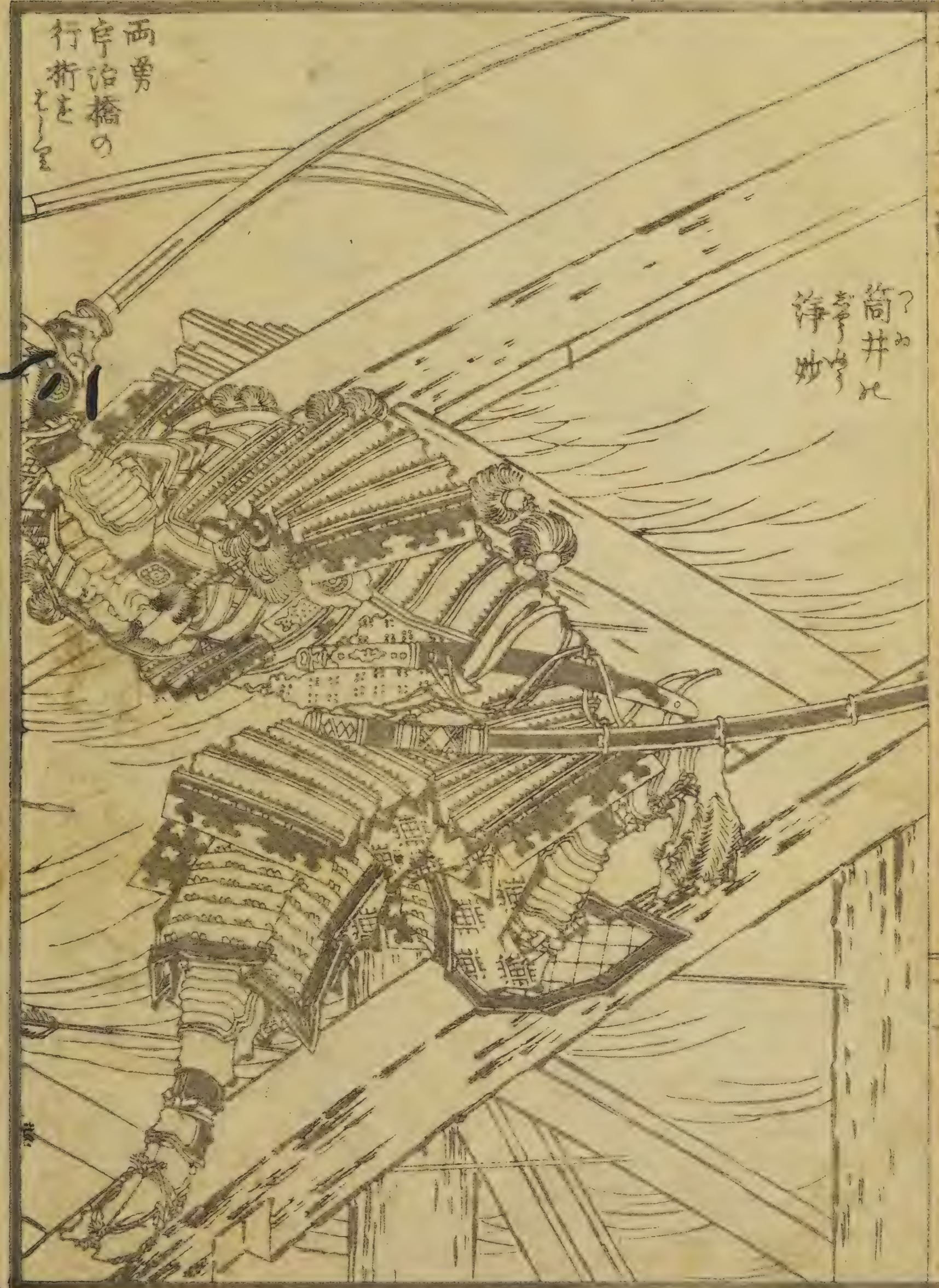


長兵衛の扇

長谷邊に信連

筒井比
浄妙

両勇
守治橋の
行折を



戦ふ事
平治のどく
敵味方
目をたごる
うま



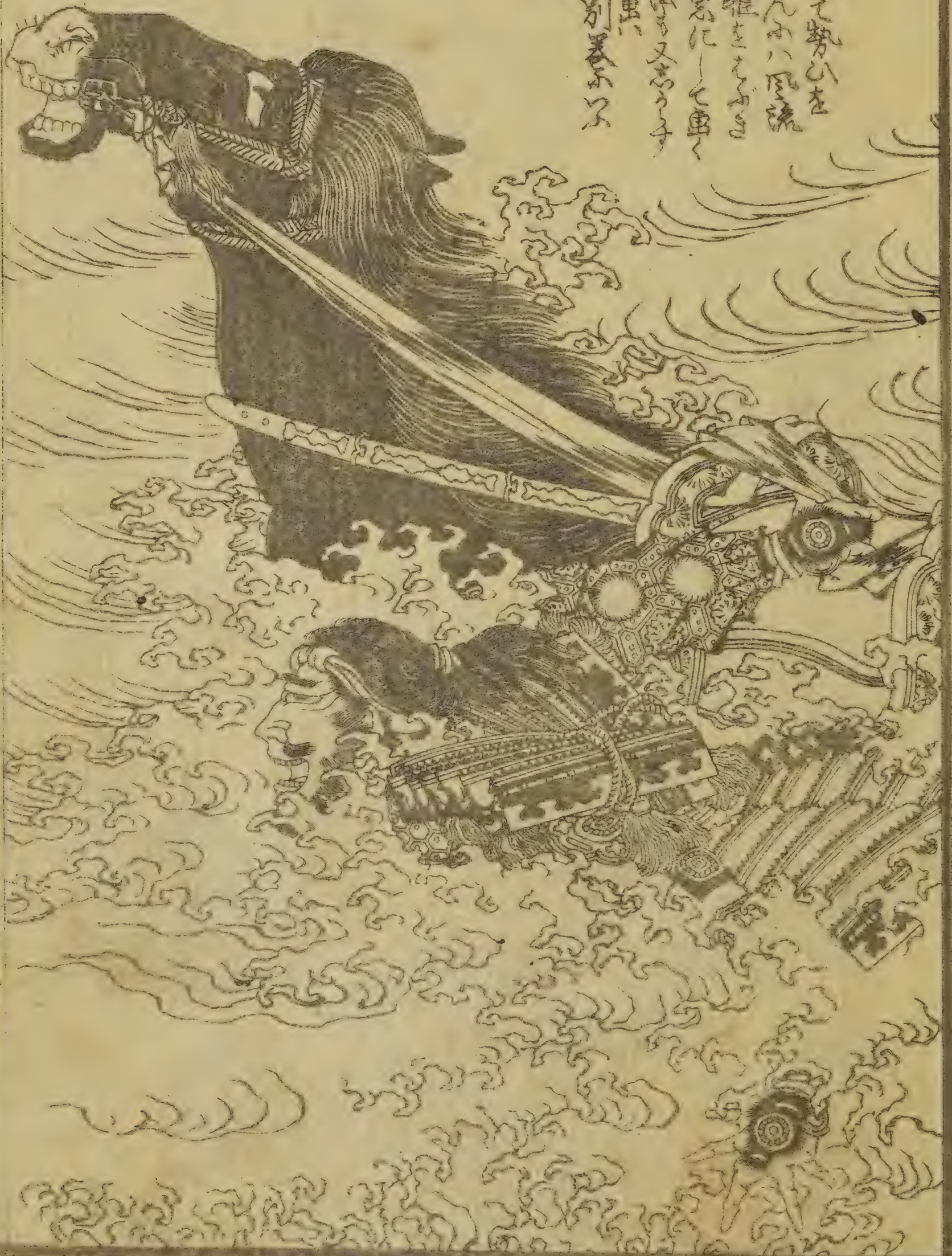
い
一
来
法師

田原の
すたろうたつ
俊太郎忠頼

宇治川の
急流を



すて勢ひを
画んふハ風流
古雅をこふふ
俱意に一々画く
古法も又志うす
雅画ハ
別表ふ不



舟人

あ、だ
悪源太
よ、ひら、れぬ
義平比美



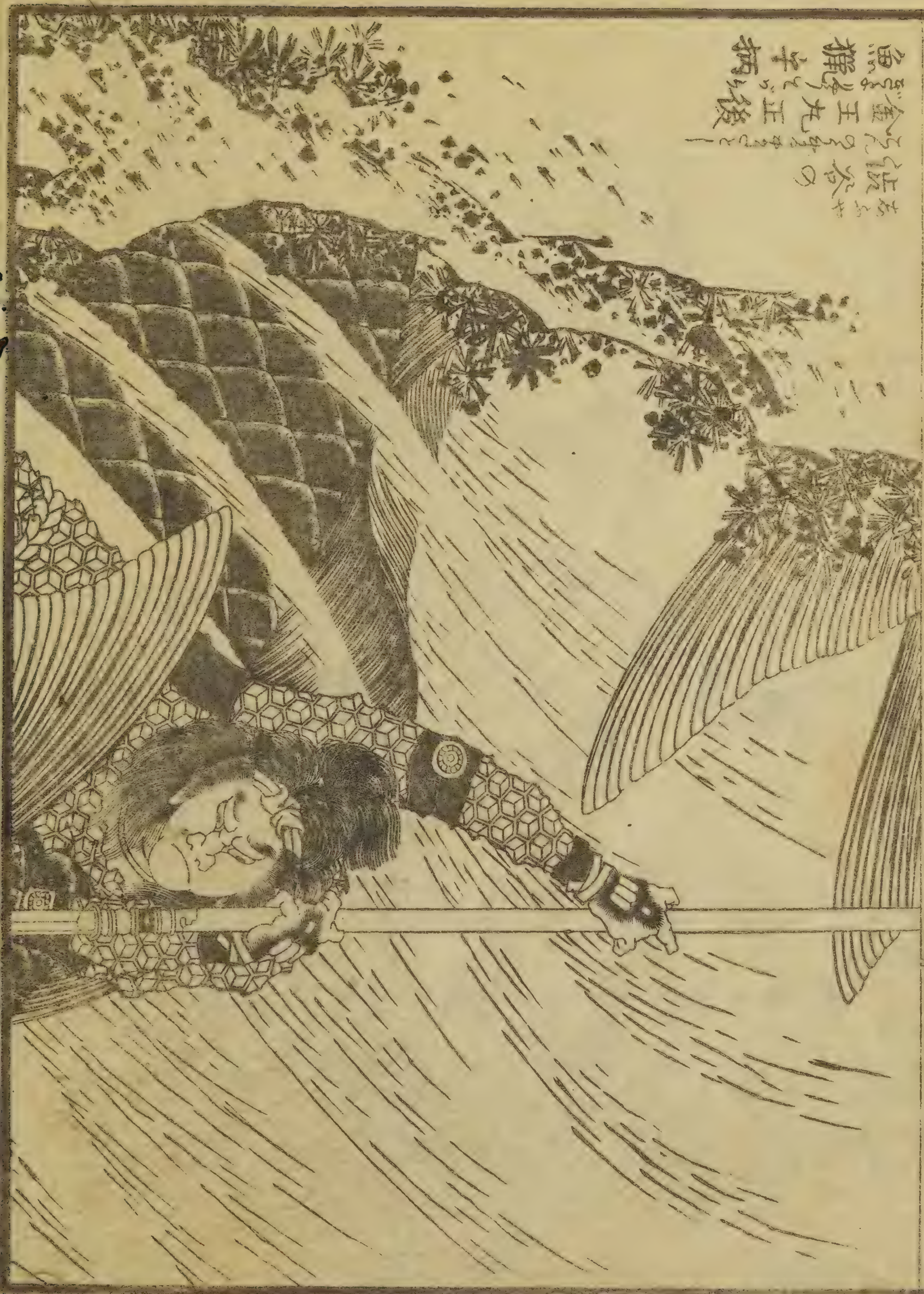
あんな
難波の
六郎を
引割く

とつてついで
八町礮比

まゝのたゆら
鬼平次大夫



魚イサ 推オシ 中ナカ 柄カ
金イ 王ミ 丸マ 正マ 後ノチ
彼カ 谷ヤ の





織中津より
兵船八隻
遠く新志
西へ松本
へ

扇江の
里

那須の
市
高宗





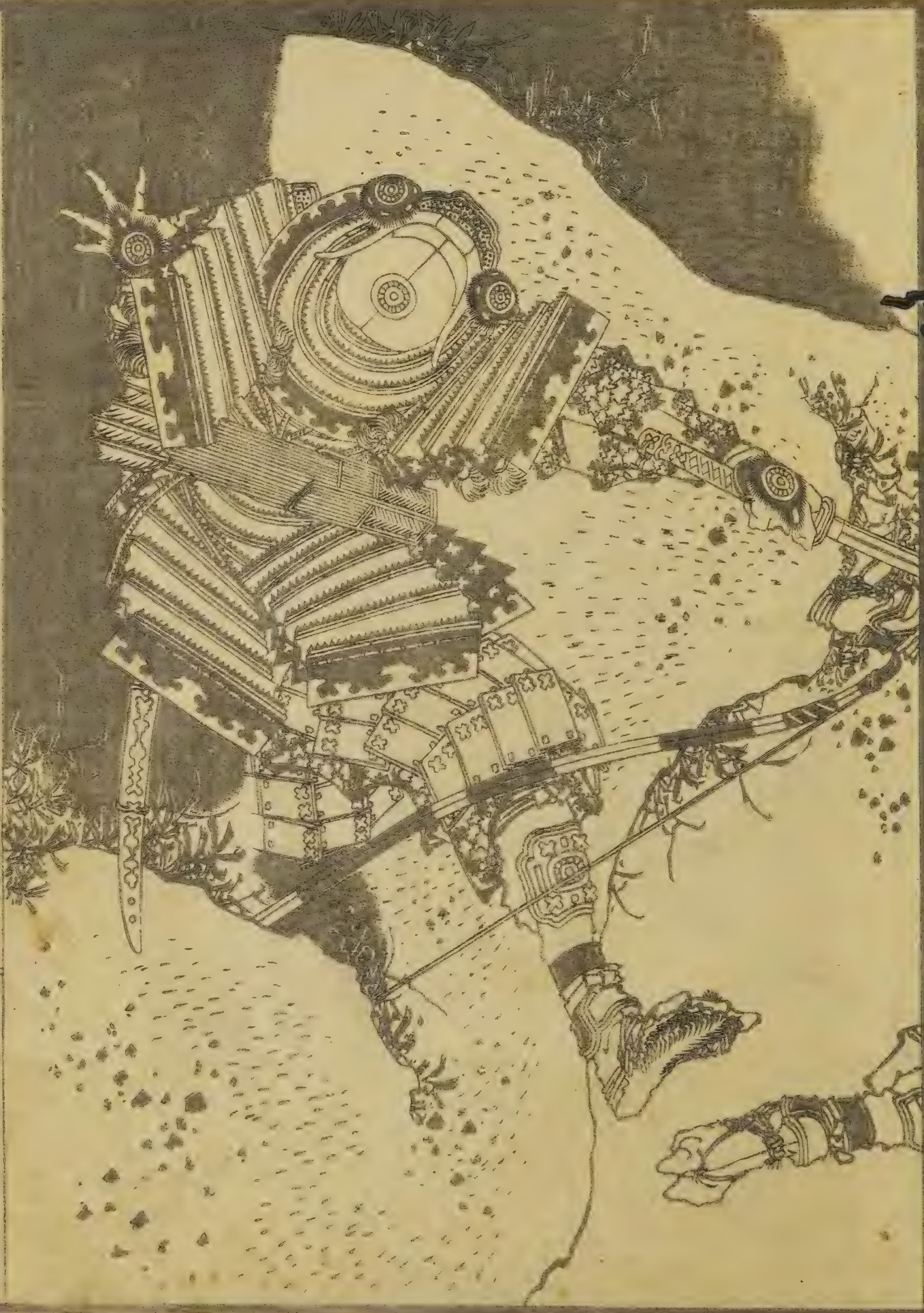
猪の脰比小平六

越中前司盛俊を謀計す

深田一突路



十段を討つ





秩父の
 上原司次郎
 重忠

大佛殿供養

大佛殿供養

奉行



あゝ志士ひやん
悪七兵衛

景清

三



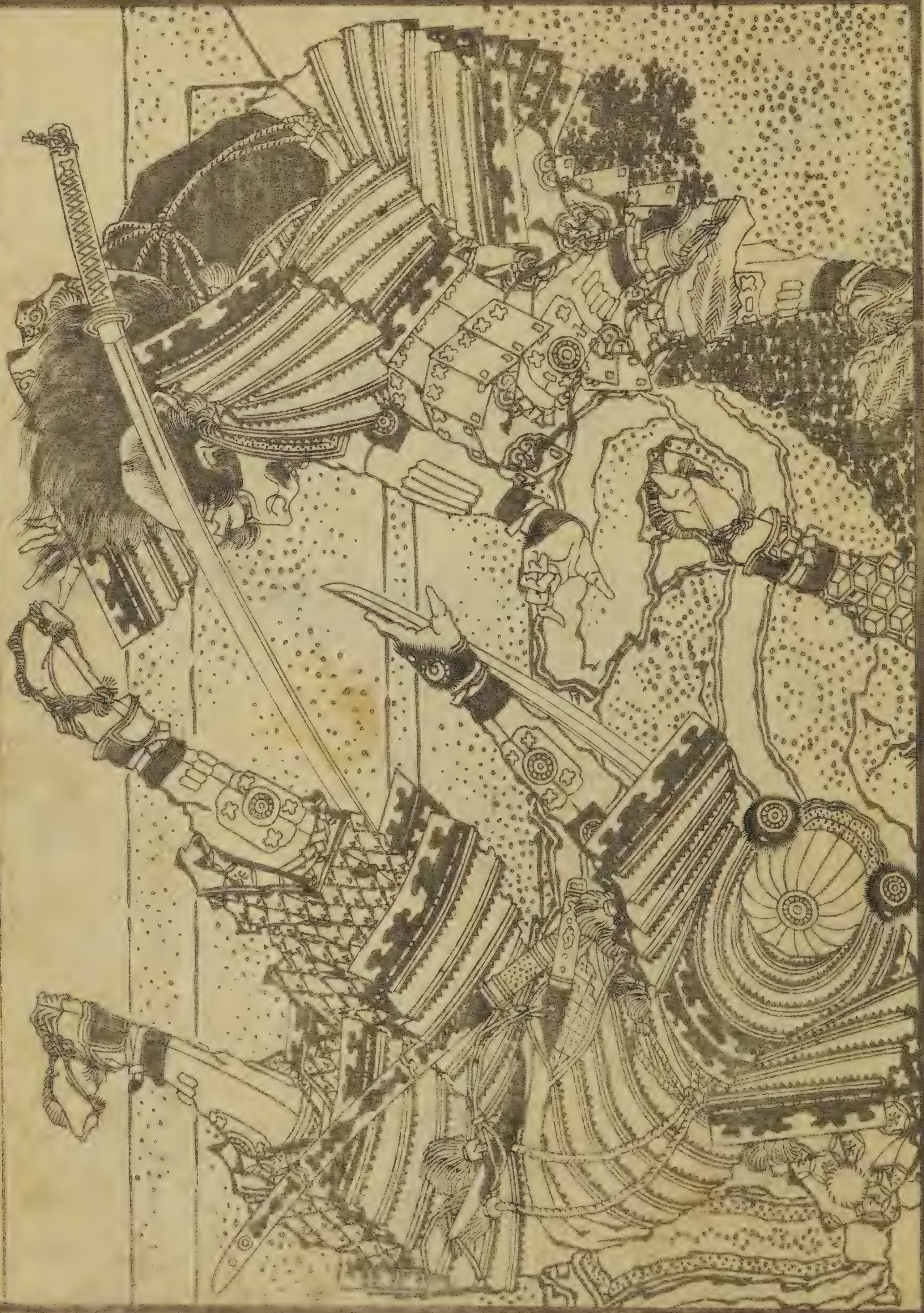
かろてりしうらたまひ
北條の四郎時政

霊夢にあらん蛇がわらふ
三つに鱗を得て入りとる



延喜
小
藤太成家
忠死







獲り紙中に曾壯の勢を述べて甲冑を
 帯へて身腹の自生あるをあらわすは
 冊に蘇我とす。本文に廻歸一ありは
 年曆前後一各集亦得り後一此賦
 さきの君子例の虫精ふきてあつり終ふ香

そが
曾我の
五郎
時致



曾我五郎時致

111

横川の覺范
忠信と戦ひ
最期



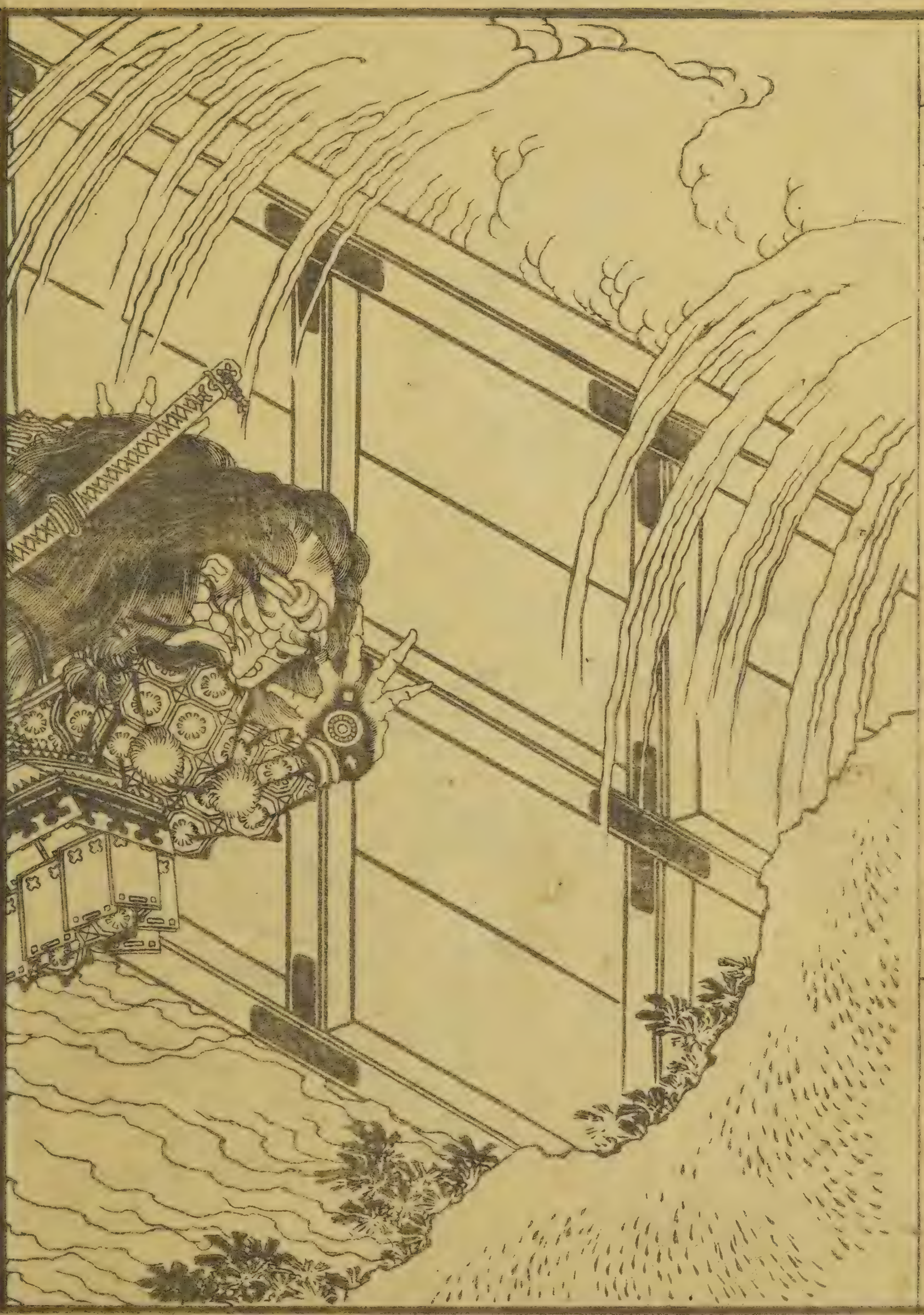
さとうしんけい
佐藤四郎兵衛忠信



和泉の
 三帝忠衛
 義經小送て
 討死す







秀衡の五男
樋元ひづらに立席たてざき
高衡たかひら怪力かいりき



源氏物語 一三



れやまゝたうり
小山田太郎

高泉

よしのた
義貞の命に

かゝりて

兼て懐かあがり

血戦しく義の

まを射死す



大廓坊 だいかくぼう

怪津 かいしん

此三人奇代の大を得てより
足利家の付と城夜討
焼討ありて十八分不き
たどす

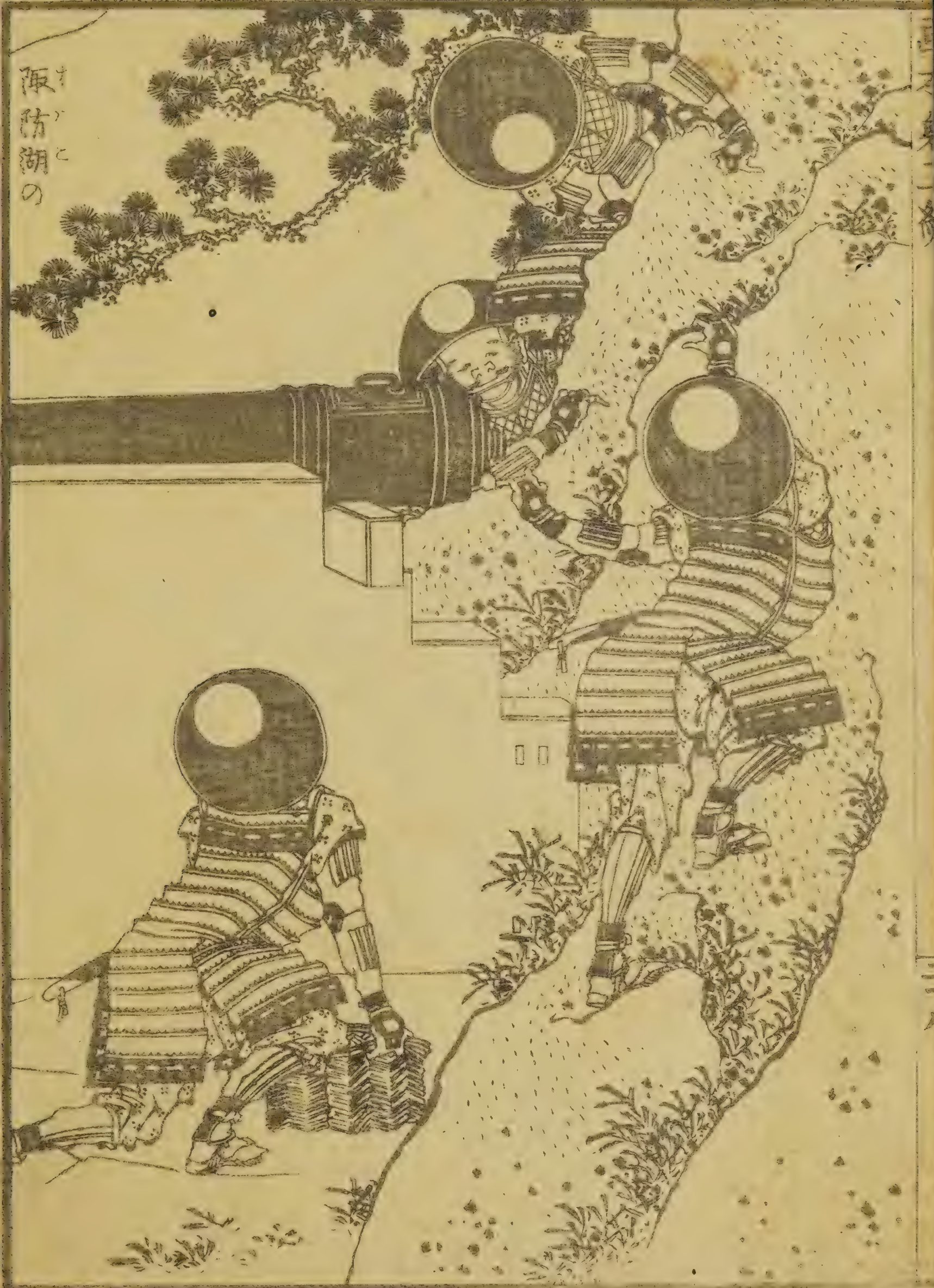
美女 みづめ
悪八 あくはち



えたらくら
畑六郎
さきめん
左衛門
とんよし
時良



阪防湖の



氷あんどふしそ
人馬に調練陸地の
こころく自在あり



入道 上杉 兼光 鹿 信人





武田晴信
 武田晴信の
 入道信玄

醉中作
 紙中文字
 馬上之遊樂
 好女也

君賀 春 六 十 六 津 出 國 言

菜露庵

雨明



天保七丙申年八月發行

大坂心齋橋安堂寺町

秋田屋 太右衛門

尾州名古屋本町

永樂屋 東四郎

江戸芝神明前

和泉屋 市兵衛

同 神田鍛冶町

北島 順四郎

同 日本橋通二丁目

小林 新兵衛

同 中橋廣小路町

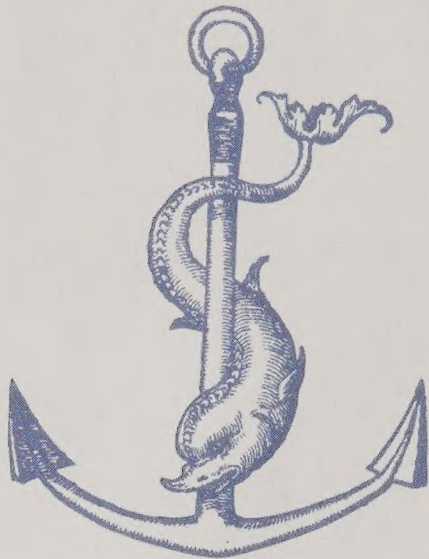
西宮 彌兵衛

書肆



Rare Collection

ND
1059
.K23
A4
1836



L. Tom Perry Special Collections
Harold B. Lee Library
Brigham Young University

BRIGHAM YOUNG UNIVERSITY



3 1197 23619 6694

